

JHF理事会議事録

日 時： 2025年3月14日(金) 13:00～16:00

場 所： JHF事務局会議室(北区中里1-1-1-301) /ZOOM会議

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 橋田明夫 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席 【理事】 芦川雄一郎 橋田明夫 濱田 革 安田英二郎
オンライン (ZOOM) 竹村治雄 山口隆文
【監事】 オンライン (ZOOM) 岩村浩秀
(出席理事6名 今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 理事・監事の一言

安田会長：3月12日に日本学生フライヤー連盟（以下学連）が来局し、昨年度報告と来年度計画について学生の大会参加負担を軽減したい要望が出た。

芦川副会長：毎月経理確認と事務局作業に来ている。11月にデジタル無線機ケーブル修理を確認。見直しの時期である。

濱田理事：両競技委員会はルール改正を進めている。ハングパラ振興委員会はJHF LIVEに取り組み順調である。

橋田理事：北海道事故があり浮力帯について取り組んでいる。安全啓蒙ビデオの作成、トーイング講習会開催を予定する。

山口理事：教員スクール事業委員会で2月に上級タンデム朝霧検定を開催。合格率は低いが受検者レベルは上がり年齢層が下がってよい傾向を感じる。2月25日に教員学科検定を開催し参加者7名。教員検定予備講習も始めて成果が出ている。

竹村理事：制度委員会は外部理事投入に向けて定款修正案、役員選任規約の変更を検討中。

1月25日に気象セミナーを開催、一般財団法人日本航空協会・航空スポーツ室で5月に三田図書館（東京都港区）でイベントを開催予定でハンググライダー、パラグライダーのVRを検討。事務局システムの改修は来年度に予定する。

4. 審議事項

第4-1号議案 2025年度事業計画について

安田会長より、2025年度事業方針について説明があった。事業方針としては、会員数が漸減しており、高齢パイロットの引退による減少が見込まれる。普及のために多くの人の知見を求め普及策を探り、できることから現実化していく。注意力不足による事故を減らす。

議長（橋田理事）：2025年度事業計画案について決議する。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

第4-2号議案 2025年度予算について

芦川副会長より、2024年度決算予測にて予算案を作成したが、公共料金、郵便料金の値上げ、大きな部分は、個人賠償責任保険料が値上げになり支出が大幅に増える。各委員会の要望を入れた旨の説明があった。

安田会長：学連から、全国から遠方エリアへの交通費、教員への支出が大きいので補助を上げて欲しい要望があり+10万円を認めたい。

山口理事：会員数が減り保険料が上がっていることで、支出については全体的に10%下げないと厳しい。日本選手権補助金は新たなエリアで開催は予算を組むが、過去に何度も開催しているのであれば予算を減らしたらどうか。選手は都道府県連盟から補助を出してもらう。選手から日本選手権、世界選手権へお金を積み立てる仕組み等考えられないか。

安田会長：既に4月開催のハンググライディング日本選手権は準備を始めていることもあるため減らせないが、パラグライディング日本選手権はそれぞれ1割減らしたらどうか。

濱田理事：都道府県連盟事業費に含まれている総会交通費を半額補助にしたらどうか。

安田会長：補助動力委員会予算が43万円に増えているが。

橋田理事：安全セミナー8万円、トeing講習会5万円、浮力帯テキスト30万円で見込んでいる。モーターパラグライダーはスクールが少なく、カリキュラムもない。安全講習会等で冊子を配りたい。

山口理事：出版するのであれば予算を組むが、講習会で無料配布に予算を組むのはどうか。

竹村理事：関連動画をQRコードで発行してPDFや実験資料は見られる。モーターパラグライダー全体の安全性を考えるのであればNPO法人パラモーター協会（以下JPMA）と協力して作ることも考えたらどうか。

橋田理事：JPMAとは協力は結べない。他案件も途中から協力してもらえなかつた。

竹村理事：予定しているページ数であれば2～3万円程度であるのでテキスト代は減らしたい。

議長（橋田理事）：他に委員会活動事業費以外で減らせる部分を減らした予算案で決議をする。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

2024年度事業計画、予算は、3月末迄に内閣府へ提出し、6月通常総会で正会員へ報告する。

第4-3号議案 八幡浜市パラグライダー・トeing体験会の後援について

橋田理事より、愛媛県八幡浜市のパラグライダー・トeing体験会について、補助動力委員会としてスクータートeingを進めたいこともあり昨年同様に後援したい説明があった。

山口理事：本来は都道府県連盟が主催か共催。パラグライダースクールの開催でJHFがお金を出すのは営利目的に見られないか。

竹村理事：JHFへの補助申請はスタッフの日当と交通費と保険となっているが、参加費はどこに入金か。

橋田理事：体験者の傷害保険である。

安田会長：実施要項等どこにも愛媛県連が入っていない。本来や愛媛県連がJHFに申請するべきである。昨年の報告書は出たが、どういう報道をされたか報告が欲しい。

議長（橋田理事）：後援締切が本日であることもあり、今回の決議は、実施要項等に本来体験会を主催する愛媛県ハング・パラグライディング連盟を入れることを条件として決議する。

第50回二宮忠八翁飛行記念大会パラグライダー・トeing体験会(八幡浜市体験会)については、愛媛県連主催か後援体験会として、JHF後援は協力するスタッフの日当、交通費と主催者賠償責任保険代47,500円を負担する承認となる。

出席理事全員(議長を除く5名)の賛成で承認

5. 協議事項

5-1 フライヤー会員数回復に向けた施策について

濱田理事より、ハングパラ振興委員会にフライヤー会員から届いた資料を理事会、JHF全委員に共有した。意見等が出れば本人にもフィードバックしていきたい。

6. 報告事項

6-1 予算実績表

6-2 フライヤー会員数、技能証発行件数

予算実績表、会員数、技能証発行数を報告した。

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。(出席理事)

理事

芦川雄一郎 印

竹村治雄 印

橋田明夫 印

濱田 革 印

安田英二郎 印

山口隆文 印

監事

岩村 浩秀 印

議事録作成人: 桜井加代子